

12月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧いただけます。



**本市の人事制度について
—休暇の取得促進について—**



太田クラブ 大川 敬道

議員 令和3年1月からの1年間における一般行政職員の年次有給休暇平均取得日数と、取得日数が3日未満、5日未満、17日以上、20日以上の職員数及び割合を伺います。

企画部長 平均取得日数は12.81日です。取得日数が3日未満の職員は3人で0.3%、5日未満は17人で1.6%、17日以上は279人で26.1%、20日以上は98人で9.2%となっています。



議員 所属長による年次有給休暇の管理方法について伺います。

企画部長 平成29年1月から勤務管理システムを導入し、本人が入力・申請を行い、

所属長が承認しています。また、所属長は課員の休暇取得状況をシステムで確認できますので、今後も適正な休暇の管理について周知していきたいと考えます。

議員 1月に1年間の有給休暇取得計画表を作成し、管理することも必要と考えますが、所見を伺います。

企画部長 例年10月から11月に、休暇取得日数が5日未満の職員に対して、年次有給休暇等取得計画表を作成させており、年々その人数も減少していますので、今後も同様の方法を実施したいと考えています。

議員 年次有給休暇のさらなる取得促進が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 休暇の取得については、本人に裁量があり、取得を押し付ける必要はないと考えますが、休暇の取得促進は行ってもよいと考えます。

- その他の質問
- ・人事の諸課題について



給食費補助による保育士等の処遇改善について



創政クラブ 松川 翼

議員 保育士の処遇改善等加算制度の内容について伺います。

福祉こども部長 処遇改善Ⅰは定期昇給や賃金改善により、賃金水準の底上げ等を図るもの、処遇改善Ⅱは中堅職員の役職を創設し、役職に就くためのキャリアアップ研修を受講した者に給付するもの、処遇改善Ⅲは収入を3%、おおむね月額9千円引き上げるものです。

議員 処遇改善等加算に関する保育士自身の理解について伺います。

福祉こども部長 処遇改善等加算制度は具体的な支給内容の周知が前提条件であり、理解されていると考えます。

議員 処遇改善等加算を透明化することで、保育士が園を選びやすくなり、潜在保育士の復職支援にもつながると思いますが、市長の所見を伺います。

市長 国の基準に基づき、透明化は図られていると考えます。大変な状況にある保育園やこども園に対し、国がもっと注目する必要があると考えます。

議員 保育士の給食費を補助するために、地域通貨を付与することで、保育士の支援と、地域経済の活性化につながると考えますが、所見を伺います。



市長 市が保育園に対してどこまで対応できるのか、協議を進めていきたいと思いますが、保育士の給食費については、補助金として職員の厚生費を支出していますので、その中で対応いただきたいと考えます。

- その他の質問
- ・安心安全な通学・通園のためのキッズゾーンの設置について
- ・運動公園駐車場に関する渋滞緩和対策について

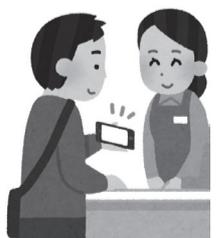


障がい者手帳の利便性向上とサービスの拡充について



公明クラブ 高橋 えみ

議員 障害者手帳を提示せずに、割引やサービスを利用できる「ミライロID」というスマートフォン向けアプリが開発されています。障害者手帳をアプリ内に登録することで、手帳の情報をスマートフォンの画面に表示でき、その画面を公共施設等で提示することで、割引などを受けられるものでありますが、ミライロIDを導入した際のメリットとデメリットを伺います。



福祉こども部長 メリットは5点あり、1点目は障害者手帳の破損・紛失の減少、2点目は自治体ごとに異なるフォーマットの統一による施設等の確認に要する負担の軽減、3点目は障害者手帳の提示に伴う

精神的負担の軽減、4点目は複数の手帳の一元管理、5点目は登録費用などの費用負担がないことであります。デメリットは特に考えられませんが、顔写真のない手帳の登録は不可となっています。

議員 ミライロIDはマイナポータルと連携することで、情報の信頼性を高めることが可能です。導入する場合には、マイナンバーカードの交付と併せて、ミライロIDの設定も支援してほしいと考えますが、所見を伺います。

福祉こども部長 導入が前提ですが、相談があった際には、関係課と連携しながら対応していきたいと考えます。

議員 ミライロIDの導入について、市長の所見を伺います。

市長 メリットしかないものなので、導入に向けて積極的に対応していきたいと思えます。

- その他の質問
- ・高齢者の支援について



(仮称)太田西複合拠点公共施設と西地区(藪塚・新田・尾島・宝泉)の発展のあり方について



創政クラブ 今井 俊哉

議員 西複合施設による各種効果や今後の行政に与える影響をどのように想定しているか伺います。



企画部長 複合施設単体ではなく、太田西部エリア全体でのにぎわい創出を目的に事業を推進しています。

議員 複合施設における集約は、機能面と地域面の2つに分けられると考えますが、西複合施設ではどのような検討がされているか伺います。

企画部長 機能面では、図書館、保健センター、行政センターの3つの窓口を集約する予定です。地域面では、現在それぞれの施設が担当している地域を引き継ぎ、必要に応じて担当地域を再検討したいと考えます。

議員 西複合施設における行政サー

ビスのあり方とにぎわい創出による地域活性化について、市長の所見を伺います。

市長 西地区にさまざまな機能を集約できるような環境にしていきたいと思っています。創意工夫をしながらエリア全体を活性化するために戦略的な策を練ってきたいと考えています。

議員 西地区の特性を活かした発展のあり方と西地区を含む本市全体の今後の発展について、伺います。

市長 西地区は文化や工業などさまざまな要素をもったエリアであり、西地区全体がひとつにまとまることによって、まちの力につながると考えています。

議員 まちづくりの主体は市民であり、市民が活動しやすいよう行政がその活動を支えることが重要と考えますが、所見を伺います。

市長 観客になるのではなく、主体性を持ってまちづくりに参加することが大切だと思っています。今後も市民を支えていきたいと考えます。